ICTを活用した、Hondaテレマティクス「インターナビ」の取り組み

～安全で快適なモビリティー社会実現に向けて～

HONDA
The Power of Dreams

◆Hondaテレマティクス「インターナビ」概要

◆Big Dataを活用した震災時の取り組み

◆つながるモビリティ社会をめざして

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

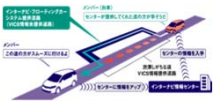
テレマティクスがもたらすモビリティー社会の進化

テレマティクスはクルマと人と社会をつなげ、
安全でグリーンなモビリティー社会を実現する

クルマと人と社会がつながる

Telecommunication：通信と、Infomatics:情報工学から作られた造語

情報で効率よく快適に移動できる



初めての土地でも自由に旅できる

クルマがあれば何処でも行ける

ネット、ソーシャルメディアとの連携
Integration of Internet/Social media

テレマティクス登場
Introduction of Telematics

NAVIの登場
Introduction of Navi.

テレマティクスの時代（第三世代）

NAVIの時代（第二世代）

ﾗｼﾞｵの時代（第一世代）

1980 1990 2000 2010 2020

車内情報 → 車外（近距離）情報 → 車外（遠距離）情報 → 社会（ｸﾗｳﾄﾞ）情報

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

Hondaテレマティクス「インターナビ」の進化

1981 1990 1998 2002

ホンダ・エレクトロ・ジャイロケータ

双方向通信型「インターナビ」開始

世界初 のカーナビゲーションシステム

デジタルマップナビ

インターネット対応ナビ

internavi Premium Club

2010 2011 2012

internavi LINC

3G通信ﾓｼﾞｭｰﾙ標準装備

スマホ用アプリ

Honda Moto LINC by internavi

バイク用アプリ

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

「インターナビ」のコンセプト・サービス

ドライバーの快適なカーライフを実現するため、
様々なデータを最適化し提供するドライブ情報サービス・ネットワーク

2002年開始
会員数：185万人

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

フローティングカー（プローブ）交通情報システム

会員同士で収集した交通情報をみんなで共有
渋滞を避け、目的地へより早いルートを案内

2003年10月開始
世界初
自動車メーカとして

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

インターナビ交通情報システムの効果

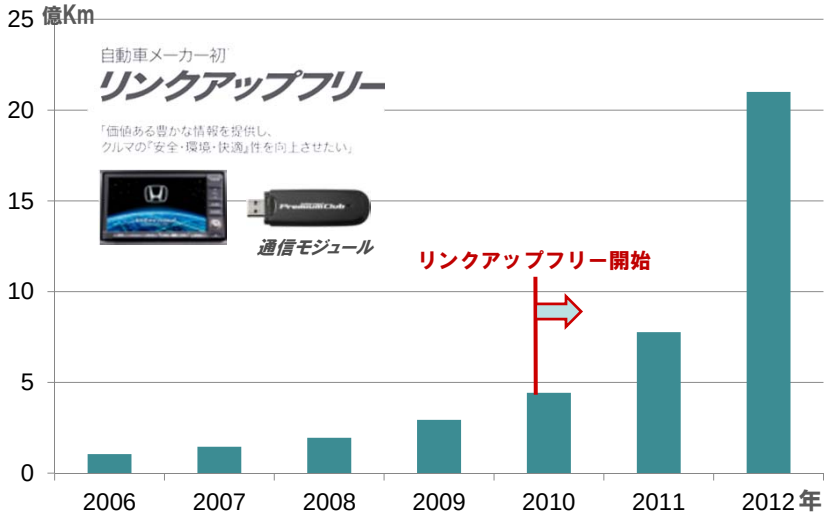
すべての道路交通情報を考慮し、最も早く目的地に到着できるルートを案内

通常のルート　　自由が丘⇒白樺湖　　*インターナビ最速ルート（7月16日）*

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

インターナビの全てのお客様に、
通信機標準装着＋通信費無料サービス「リンクアップフリー」を提供

年別データアップロード累積距離



Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

減災向けた取り組み

ドライブに影響する気象・減災情報をカーナビに提供

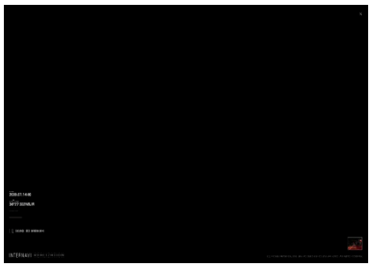
Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

Big Dataを活用した、東日本大震災時の取り組み

牡鹿群女川町

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

被災地の移動支援を目的に、東日本大震災時の翌朝、車両走行データを公開



GRAND AWARD
2011グッドデザイン大賞受賞
（応募分野：社会のデザイン）

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

フローティングカー情報を活用した「通行実績マップ」取組みの経緯

2004年　新潟中越地震

防災科学技術研究所
「災害時道路情報共有化に関する研究」に協力（2006年）

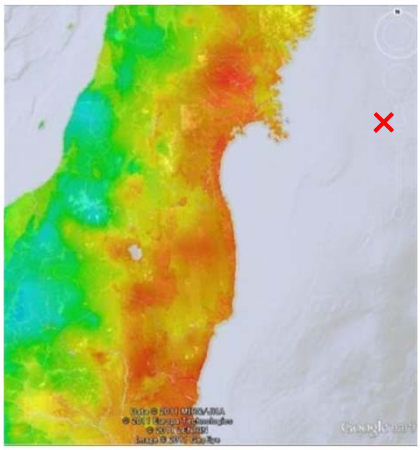
2007年新潟中沖越地震

2008年岩手宮城内陸地震

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

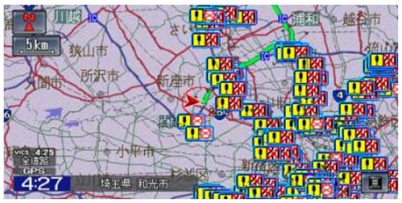
東日本大震災での取組み

2011年3月11日14時46分 東日本大震災発生



津波警報と地震震度を表示

首都圏の通行止め状況



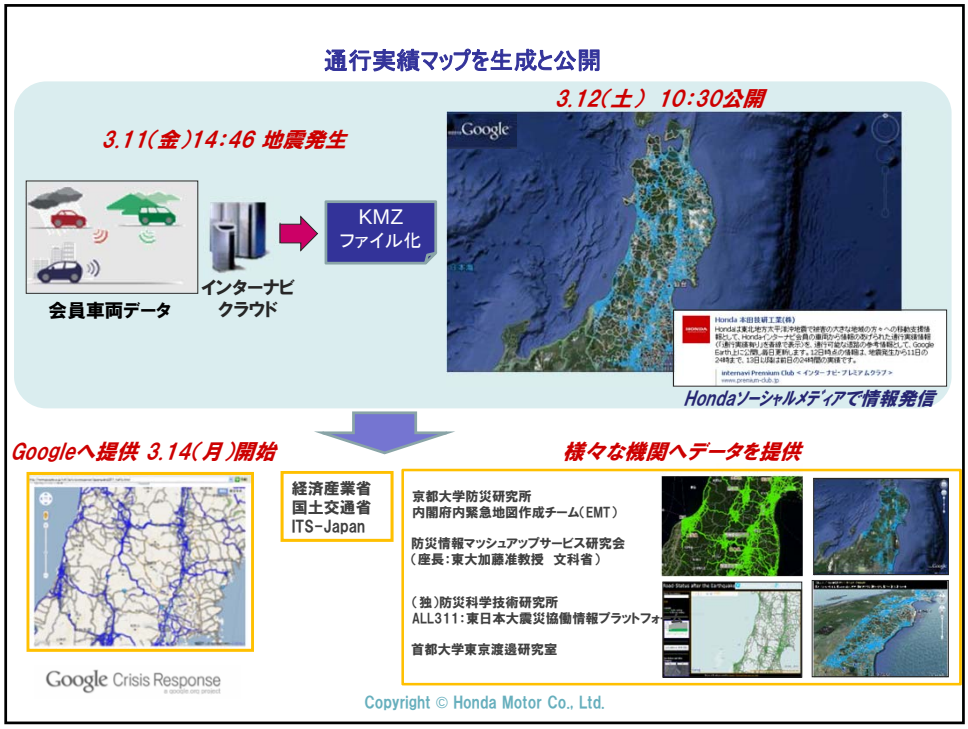
Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

東日本大震災での取組み

位置情報付き安否連絡

クルマが震度5弱以上のエリアで地震に遭遇した場合に作動

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.


通行実績マップを生成と公開
3.11(金)14:46 地震発生
3.12(土) 10:30公開
会員車両データ
インターナビ
クラウド
KMZ
ファイル化
Hondaソーシャルメディアで情報発信
Googleへ提供 3.14(月)開始
様々な機関へデータを提供
経済産業省
国土交通省
ITS-Japan
京都大学防災研究所
内閣府内緊急地図作成チーム(EMT)
防災情報マッシュアップサービス研究会
(座長:東大加藤准教授 文科省)
(独)防災科学技術研究所
ALL311:東日本大震災協働情報プラットフォ
首都大学東京渡邊研究室
Google Crisis Response
Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

Connecting Life Lines(20日間の道の記録)
2011.03.11 19:20
CONNECTING LIFELINES
Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

通行実績Map公開の反響

6800回以上のツィート/リツィート
（約130万人に拡散：3月12～15日）

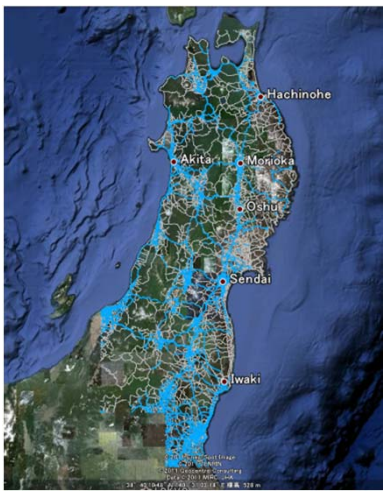
- 今日のひたちなかへ向かう際に、インターナビ提供の地図が通行可能道路の確認に非常に役に立った。ありがとうHONDA！
- インターナビ情報、東北で移動可能ルートの把握に使わせてもらってます、助かります！
- Hondaのインターナビをお持ちで，被災地域を走行中の方は，通信するように設定してください．みなさんの協力が必要です！
- インターナビが素晴らしい形で役にたった。こんな情報がすぐに共有できるのは、本当にすごいこと。
- インターナビとGoogle Mapが連携して凄いモノを作りました。
- これはどこが通行できるかが一発で解る！
- GoogleとHonda、よくこんな短時間であんな高度なシステムを実装できるとは…感動した…
- この日本という国はなんだ？技術が底なしなのか？すごいぞ、日本。がんばれ、日本。
- 自社施設等も大変な中、みんなに役立つことをなさるなんて、素晴らしい会社ですね。

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

東日本大震災での取組み

3月12日（朝）

3月16日（新潟、茨城を追加）



Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

東日本大震災での取組み

浸水警報を配信開始（8月31日より）

地盤沈下、堤防決壊で浸水

浸水センサー

スマートフォン向け

・沿岸部を車で走行する際に重要な情報、役立つ。
・仙台湾以外の地盤沈下エリアにも広げて欲しい。

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

次にむけて

～次に震災が発生した時に、救える命を救う取り組み～

石巻市松原地区、11kmの渋滞　200人以上が車内で死亡

14万台ものクルマが津波で流された

亡くなった方の6%がクルマの中

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

Big Data連携と活用

東日本大震災ビッグデータワークショップ

3.11直後からの協賛各社の実データを公開。
次の災害に向けて、新しい価値サービスのプロト開発

（2012.9.12）データ提供協賛会社

Honda　朝日新聞
ZDC　NHK
Google　JCC
Twitter　レスキューナウ

例：首都大学東京　渡邊研究室

⇒支援を必要としていた地域が判るのでは

～次に発生した時、救える命を救いたい～
2012.3.3 NHKスペシャル

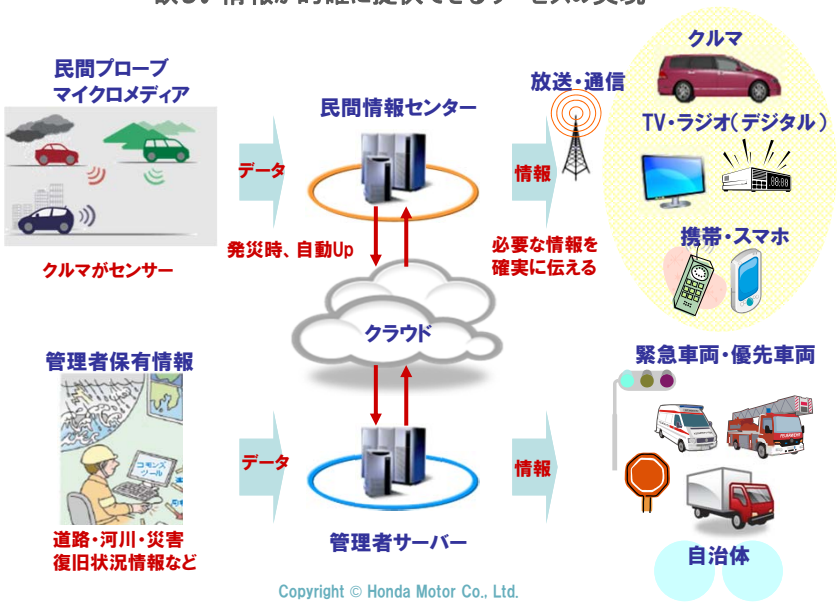
Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

分析結果から判ったこと

3.11発災時の石巻渋滞状況

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

官民の情報を活用し、災害時に何時でも何処でもつながり、
欲しい情報が的確に提供できるサービスの実現



Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

◆つながるモビリティ社会をめざして

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

複数の仲間とのコミュニケーションや、渋滞、見えないところの情報をも、共有できる通信システム

■ドライブ中に(クルマとクルマ)

グループでのドライブ中に、
仲間内の目的地の変更やトイレ休憩の
連絡がみんなに簡単に行える。

■対向車から (クルマとクルマ)

急カーブのせいで渋滞が見えない。
そんな時対向車が、渋滞の存在を
教えることで余裕を持って減速が可能に。

■お店からの情報を(道路とクルマ)

お店から、割引券などのお得情報を発信。
近くを通る車が受信することで、
プロモーションに活用が可能。

■交差点で(歩行者とクルマ)

モンパルや歩行者が、道路横断したい時に
メッセージを送信することで、
周囲の車にアピールし安心して横断が可能に

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

Copyright © Honda Motor Co., Ltd.

想い

世の中から渋滞や事故をなくしたい
安心して走りたい
未然に災害から回避できないか
もっとドライブを楽しくしたい
もっとカーライフを豊かなものにしよう

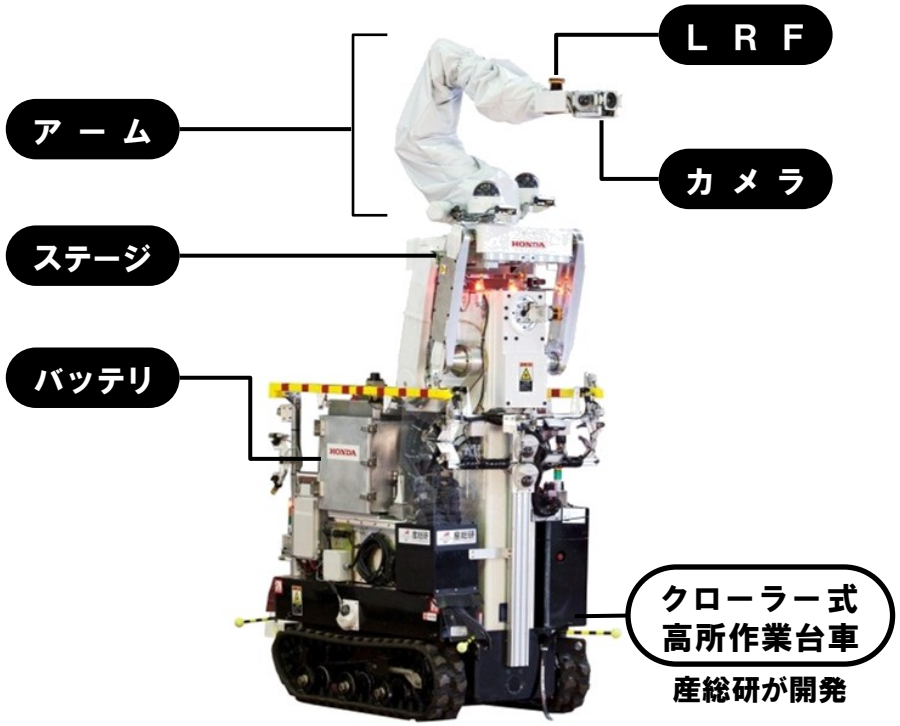
HONDA
The Power of Dreams

福島第一原発向け 高所調査用ロボット

遠隔操作で原子炉建屋内高所の狭い箇所の環境調査を行う

特徴

1. 建屋内の構造物を立体的にCG表示できる
2. 多関節を同時に制御して自在な姿勢がとれる
3. 構造物に接触した際の衝撃を吸収できる



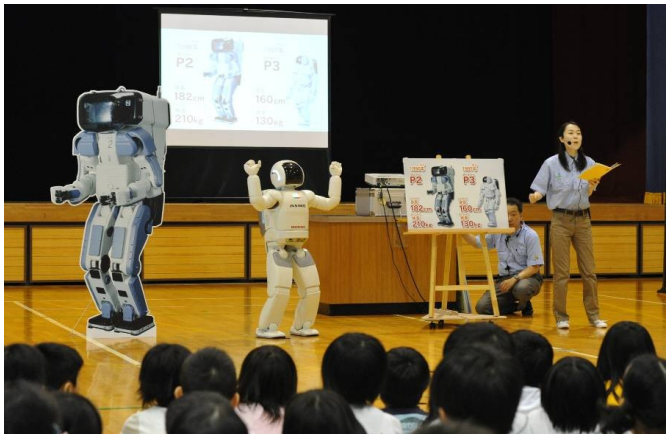
基本仕様

全　長	1.8m
全　幅	0.8m
全　高	1.8m（運搬、移動時）
最大到達高さ	7.0m
重　量	約1100kg
アームロボット	全長 1.7m、11自由度
走行性能	最大速度 2km/h 最大斜度 15度（前後） 20度（左右） 最大踏破段差 60mm

2013年6月19日　福島第一原発での運用を開始

ASIMOの技術を応用して実現

「アシモ特別授業」講演内容



■アシモ特別授業の目的

Hondaのスローガン「The Power of Dreams」のもとに生まれたASIMOを通じ、被災地の子供たちに「夢」と「情熱」を届けることを目的に、2011年6月、福島市を皮切りにスタート。

■アシモ特別授業に至った経緯

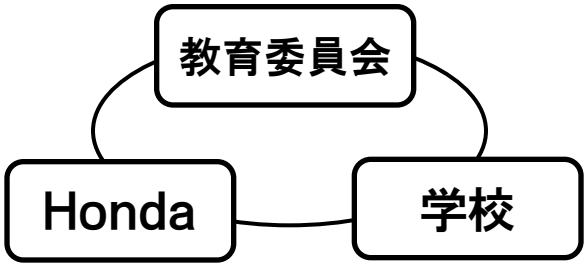
・3月11日の震災では、甚大な被害を受け、研究開発から生産まで、長期に亘りストップし、自動車メーカーの中で、最も影響を受ける。

・当時、物資の提供始め、様々な形で支援してきた中、一番ショックを受けたのは、被災他の子供たちに笑顔が消え、子供の将来を心配する母親の姿でした。

・我々に何か力になれることはないかと考えていた中、「夢」と「情熱」から生まれたASIMOなら、子供たちにメッセージを届けられるのではないかという結論に至り、授業としてのシナリオ作りから始める。

■実施スキーム

最初は全てが手探り状態でスタート。
現在は、学校選定など、地元の教育委員会にご協力頂きながら、三位一体となった活動へ。



「アシモ特別授業」講演内容

■授業運営

・本企画は、トップダウンでなく、ボトムアップから実現。

・シナリオ作りから授業での司会進行を始め、学校との事前打合せ、機材搬入、設営準備まで、全て、社内公募した従業員で実施。

・参加したメンバーからは、被災地での活動を通じ、人生観が変わったなど、貴重な経験になっており、人材育成のために、2～3ヶ月単位でメンバーを入替え実施。

■活動実績（2013年10月末現在）

福島、宮城、岩手の3県で54回実施。 福島県 31校3,200名の皆さんが参加。

福島市	平田小学校
大熊町	熊町小学校
大熊町	大野小学校
田村市	古道小学校
田村市	岩井澤小学校
田村市	菅谷小学校
田村市	移中学校
三春町	富岡1小学校
三春町	富岡2小学校
三春町	富岡1中学校

三春町	富岡2中学校
三春町	要田中学校
南相馬市	鹿島小学校
南相馬市	真野小学校
南相馬市	小高小学校
南相馬市	鳩原小学校
南相馬市	福浦小学校
南相馬市	金房小学校
南相馬市	小高中学校
二本松市	浪江小学校

二本松市	浪江中学校
いわき市	高坂小学校
相馬市	中村第二小学校
新地町	新地小学校
新地町	福田小学校
新地町	駒ヶ嶺小学校
楢葉町	楢葉北小学校
楢葉町	楢葉南小学校
楢葉町	楢葉中学校
広野町	広野小学校

その他、双葉町から避難された児童が通う、埼玉県加須市騎西小学校で実施

「アシモ特別授業」講演内容

■その他、福島県の復興支援として

Hondaの各事業所では、毎年、桃、梨、葡萄など、福島の特産品販売を行っています。
直ぐに売り切れてしまうほどの盛況ぶりで、福島のフルーツは、とてもおいしいと評判です。

■アシモ特別授業を通じて

・児童の皆さんから、たくさんのお礼の手紙やポスターなどをいただいており、
逆に皆さんから、多くの元気をいただていると感じています。

・今後も、将来を担う子供たちへ、夢に向けて挑戦することの大切さ、
また、日本の先端技術の一旦に触れる機会として、微力ながら、特別授業を
継続していきたいと考えています。

■最後に

「技術は人のために」という創業精神のもと、震災からの復興、再生に向け、
今後も、より多くの方々と社会に役立つ技術の進化に挑戦していきます。